

フィッシング対策協議会

月次報告書（2005年7月分）

フィッシング情報届出状況

2005年8月23日

目次

1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況.....	3
1.3.	フィッシングサイトの国別トップ 10	3
1.4.	フィッシングメールの動向.....	3
1.5.	フィッシングサイトの動向.....	4
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	4
1.7.	その他の動向	4
1.8.	総括.....	4

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

7月度のフィッシング報告件数は1件でした。

・フィッシング情報の届出件数： 1件（7月29日：UFJ銀行）

（6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件、11月度1件）

・フィッシングメールの件数： 1件

（上記UFJ銀行のフィッシングサイトに誘導させるためのもの）

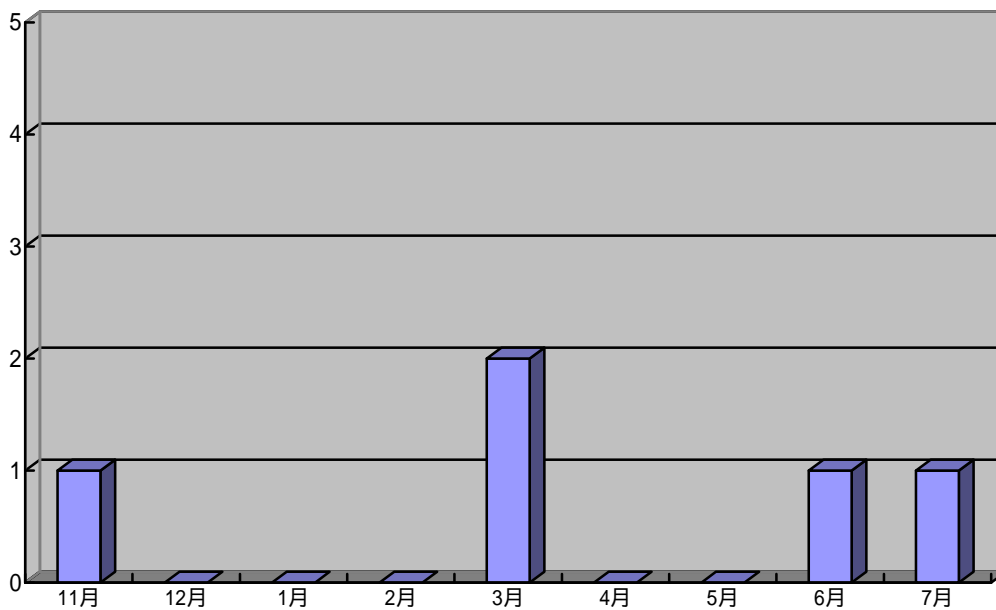
・フィッシングサイトの件数： 1件（7月29日：UFJ銀行）

（6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件、11月度1件）

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 1件（7月29日：UFJ銀行）

（6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件、11月度1件）

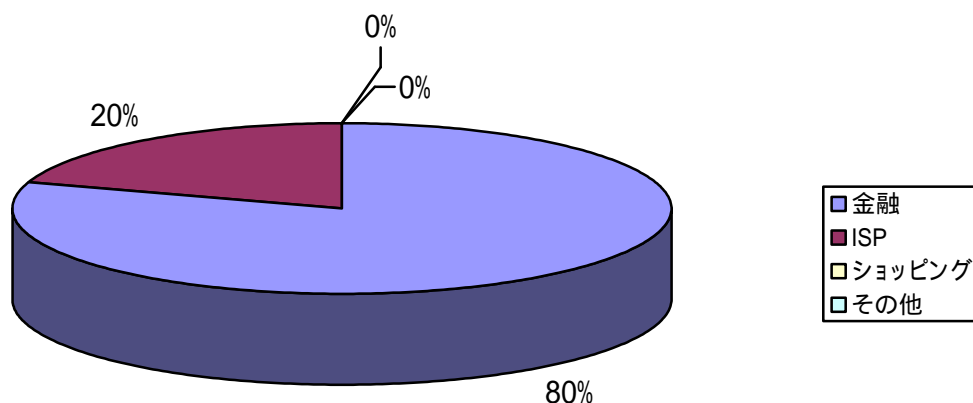
・もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： ペルー（7月29日：UFJ銀行）



フィッシングサイトの報告件数(2004年11月～2005年7月)

1.2. 業種別の状況

2004年11月度から2005年7月度までの統計は金融関連4件とISP1件という統計になりました。



業種別の状況 (2004年11月～2005年7月)

1.3. フィッシングサイトの国別トップ10

現在ではルーマニア (VISA)、ウルグアイ (UFJ 銀行)、ポーランド (UFJ 銀行)、韓国 (UFJ 銀行)、日本 (Yahoo! Japan)、ペルー (UFJ 銀行) が各1件ずつ確認されています。

1.4. フィッシングメールの動向

現在確認されているものに関しては HTML メール偽装リンクを設置してフィッシングサイトに誘導させるというもののみが確認されています。

1.5. フィッシングサイトの動向

現在確認されているサイトは、JAVA スクリプトを使ったアドレスバーの偽装利用した手法がビザ・インターナショナルを偽装したサイトで確認されていますが、その他は IP アドレスまたは別のドメイン名がブラウザのアドレスバーにそのまま表示されるものも含まれています。7 月度に発見、報告が行われた UFJ 銀行のフィッシングサイトにつきましては URL アドレスバーに IP アドレスがそのまま表示されるものでした。偽装の対象となったサイトのロゴを変更するという手法（「Yahoo!」「Yafoo!」）も確認されています。これは製作者側にはロゴを変更することにより、著作権法違反などからの罰則を逃れることを狙ったのではないかと考えられます。また、この偽サイトは携帯電話向けにも開設されていたことが判明しており、こちらもパソコン向けの偽サイト同様に本物そっくりな作りとなっていたことなどが新聞報道などで報道されています。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

7 月度は UFJ 銀行のフィッシングサイトが再び報告されています。3 月度でも同行を偽装したフィッシングサイトは報告されていますが、今回はメールの文面などは酷似していますが、フィッシングサイトのホスティング国（ペルー）や HTML の内容などについては以前のものと異なっています。HTML コンテンツに関しては報告当時の同行の当該コンテンツは数週間前に更新されたにも関わらず、それを偽装したフィッシングサイトが出現しています。これは、フィッシャーによる偽装サイトの制作が単なる愉快犯ではなく、個人情報の取得や消費者を騙すことに対して極めて積極的に活動していることの裏づけであるともいえます。